

「みえ生涯学習ネットワーク共催講座」

気候変動を正しく知ろう！～いま、三重県で起きていること、これから起きること～
アンケート結果

○問1 講座はいかがでしたか？（講座全体として）

参加者 65名 回答者 55名

■非常によかった 33

《選んだ理由》

- ・気候変動の原因が幅広く知れてとても勉強になった。又、自分が住んでいる地域についての事例が多く、分かりやすく感じました。
- ・テーマが大きく、どのように導入されるのかと思っていましたが、身近なヒアリング事例などがおりませられ、問題提起にはよいと思いました。
- ・表現がすばらしかった。
- ・SDGs や地球温暖化に興味があったため。
- ・ききとりやすく、わかりやすかった。研究実績ではなく、結果から。
- ・気候変動は様々な分野に関わっていることがわかった為。
- ・三重の産業別に気候変動の影響と対応の話が身近なだけにとても解り易く興味深かったです。
- ・最近の気候が気になっていた。
- ・今最も大事な事だと思っています。
- ・拝聴したかった。
- ・話しが多岐にわたり、興味深かった。
- ・身近な問題提起で分かり易かったです。
- ・今、とても大切なことだから。
- ・1つの事象に特化せず、幅広い内容を説明してもらえたこと。SDGs との関係についても興味深い内容だった。
- ・気候変動に関するあらゆる分野で調査、具体的、詳細なデータを集めている。
- ・講師がうまい。まとめ方も。
- ・聞きやすい言葉でわかりやすい内容にしてありました。
- ・環境問題に関心あり。
- ・気候変動に状況、将来の先通しも理解を深め、地球温暖化を抑制するために、自らがどのように取り組むべきか（働きかけを含む）について考える一助としたいと思いました。
- ・今後の自然災害対応の参考としたかった。
- ・知らない事がよくわかった。

■良かった 20

《選んだ理由》

- ・エネルギー多消費型産業に携わってきたエンジニアとして、地球温暖化による気候変動に無関心ではいけないから。
- ・講師の方が丁寧でわかりやすく説明されたので。
- ・気候変動こそ、人間がなんとかせなあかんことなので、また新しいことを聞きたいです。
- ・わかりやすかった。私の目線で話して下さいました。
- ・時間が足りないと思います。
- ・広い世界（世界、日本）での概況はある程度認識しているものの、三重の状況については知る場が殆んど無かった為。

- ・ 気象について知りたかった。
- ・ 興味があった為。
- ・ 多くの情報を得ることができた。
- ・ 幅広い資料を用いてわかりやすくお話を聞かせていただきました。途中、「なぜ」と疑問に思ったことがありました。少しだけでもふれていただけるとよかったです。例、平均気温が下がるモデル。牛などのメタンガスの問題など。

■悪かった 1

《選んだ理由》

- ・ タイトルと内容が違います。「気候変動で三重県はどのような結果になっているのか」にすべきです。

■非常に悪かった 0

■選択なし 1

《選んだ理由》

- ・ 三重県の状況も説明も重要だと思われるが、私自身としては気象の現象と現状との相対を教わりたかった。

○問2 お話の内容について

■よく理解できた 33

興味を持った点

- ・ 畜産が環境に与える影響。SDGs と気候変動対策について。
- ・ 言葉が明瞭で IPCC 報告書としてのデータは引用であることがしっかりしめされていてよかった。防災分野は特に興味がある。
- ・ 気候変動が人間によっておきている部分があるということ。我々の生活を変えていかなければならないですね。
- ・ 実際に身近なところで気候変動の影響が様々な形で起きていることを具体的に知ることができた。SDGs と地球温暖化の関係がよくわかった。あちらたてればこちら立たずのような関係もあり、バランスよくはなかなか難しいことが分かった。
- ・ レジームシフトの講座は興味深かったです。メディアからの情報だけでは得られない学習です。
- ・ 身近な問題。
- ・ SDGs、温暖化。
- ・ 緩和と適応。原因を少なく。影響について良く考える。マイワシとカタクチイワシのレジームシフト。流域治水。
- ・ 学者の学術研究の講演より、樋口さんの自由研究の話の方がずっとわかりやすくおもしろい！
- ・ 緩和と適応が必要ということ。「結びの神」が夏の暑さに強い米として改良された米だと初めて知りました。流域治水、治水計画。
- ・ 気候変動によって、人間が住む地球がどう変化していくか。1億年後には地球上から人類は消滅すると云われているがその過程である。
- ・ レジームシフトが20年周期である（イワシとカタクチイワシ）。アカウミガメが温度で性を決める。高温対策の新品種みえ23号（結びの神）が出来た。
- ・ 県内の影響について具体的に説明している点。地球の気候変動は全員が意識をもって行動すべき。
- ・ 温暖化。

- ・三重県個別の状況把握がきちんとなされていること。Globalな規模での議論との切り分けがきちんとなされていること。「正しく恐れる」という精神に通じる。
- ・農業、漁業への影響と緩和、適応策。
- ・内容が多くあったためか、少し速かった。もう少しゆっくり話を聞きたかった。SDGs。
- ・SDGsと気候変動の関連。

分かりにくかった点

- ・特にありません。
- ・ほとんどなし。

■大体理解できた 20

興味を持った点

- ・産業分野は生活に身近で興味がもてた。
- ・SDGsについて。
- ・来たる南海トラフ大地震対応とハザードマップの関係性についての説明が分かり易かったです。
- ・三重県で起きている影響と適応。
- ・身近な暮らしにも気候変動が大いにかかわっていることを実感した。
- ・SDGsと気候変動対策のどこが違うの？どんな関係？
- ・緩和と適応。
- ・専門的な事をわかりやすく話して下さった。
- ・SDGsと気候変動対策の比較は面白い試みだと思います。ビルゲイツはさすがです。
- ・適応のための各分野の努力（農業、漁業など）現況。
- ・気温の上昇。
- ・気温が上がったときの影響。

分かりにくかった点

- ・盛りだくさんでもっと1つ1つについて深く知りたいと思った。
- ・たまになんのことかわからない言葉が（LNGとか）ありました。資料に言葉の説明とかのつてると忘れずにおれます。
- ・もう少しゆっくり話してほしいと思いました。
- ・セミナーの目的が広域すぎて、伝わりにくいものでは？沢山の情報を伝えたいというメッセージでは大変よく伝わりました。お話しはとても上手だと思います。
- ・太陽との距離や温度の変化、火山活動の影響等人的でないものもあるため、それらを引いてどれほどの影響があるのか知りたかったです。
- ・マスクしての話であったので、言葉が少し分かりにくい所があった。

■あまり理解できなかった 0

■理解できなかった 0

■選択なし 1

興味を持った点

- ・理解は出来たが私自身の目標とは少し方向が違っていたと思われる。

分かりにくかった点

- ・もう少し気象学からの観点をも考慮して説明してほしかった。

○問3 気候変動を実感していますか？

実感していることを具体的に教えてください。

- ・紅葉の色づきが悪いまま、散ってしまうようになったと感じています。寒暖差が小さいまま寒気に入るからでしょうか。ことしは降雪も多い年でしたが、冬日が少なくなったのは実感です。
- ・米の生産が東北から北海道になってきた。
- ・雨の降り方が線状降水帯など熱帯的になって水害が多発している点。
- ・実感している。夏の異常な高温、熱中症になる人が多くなった。冬の豪雪で社会生活に支障が出るが多くなった。
- ・はっきりした四季が無くなりました。春、秋を感じる事が少なく、夏と冬で過ぎていく感じですね。一年を通じて雨のふり方が激しいです。
- ・異常気象台風災害などの現状を見て思います。
- ・先生は御自身の「疑う余地がない」と思うようになっていませんか？センターの雰囲気はどうでしょうか。私はもう後もどりができない時点にきていると思っています。
- ・赤トンボの減少。スズメの減少。
- ・豪雨災害が各地で起きていること。暑い夏、寒い冬、当たり前ですが、いままでにも増して感じてます。
- ・実感すること多いです。
- ・夏の気温がとて高くなったこと。津市の海岸の砂浜が、とても狭くなっていること（S40年代を知っているの）。津市（旧津市）の雨、雪が少なくなっているような気がする。
- ・梅雨時期40～50年前は、雨はしとしと長期間降ったが今は集中豪雨。地球温暖化と云えども冬は極端に寒く、夏は猛暑が続く。
- ・断熱性能の高い家は、ほんとうにあたたかいです。今年はまだエアコンを付けてないです。
- ・極端な天候。夏の暑さ（猛暑日の多さ）
- ・異常気象（大雨など）。農産物、海産物等への影響。災害発生への影響など。
- ・冬の降雪量や台風の数減少。夏の猛暑、冬の厳しい寒さ。
- ・日々の変化が普通ではない。時が多く感じられる。
- ・スキー場の年間稼働日数。夏季の暑さ（＝エアコンの消費電力）。熱中症患者の増加。冬季オリンピック会場の降雪量の推移。
- ・実感している。
- ・1月～あつかったので大きい地震が早よくるんじゃないかといやでした。
- ・気温の上昇がすごく気になっております。
- ・夏の暑さ（→身体にこたえる）。台風の大きさ、集中豪雨の雨量。日本各地で採れる魚の種類の変化（→北海道が不漁）
- ・暑さ、豪雨。
- ・年々の気温の上昇。気候変動必要性の再認識。
- ・ここ数年、苔の成長が著しい。いたるところに生えてきている。人の言うには、温暖化のためだというが、いかがでしょうか。発生をおさえる方法があれば、教えてほしい。
- ・たしかに暑い日がふえたと思う。
- ・特になし（但し、後半部分、“防災分野”項は興味があった）

○問4 その他、参加されてのご意見・ご感想があれば、ご記入ください。

- ・私は、地元松阪市で、松阪市をエシカルな街にをモットーに活動しようと考えております。今後の活動に意欲を持ってました。ありがとうございました。
- ・教員として学生に、この適応センターの資料を利用しながら講義させていただきます。ありがとうございました。
- ・二酸化炭素を上手に使うことが大切だと思います。
- ・気温上昇によるマイナス面を重視されていたが、プラス面もあるのではないかと（あってほしいかも）。それを知りたかった。昨今は危機意識ばかりで、少しはほっとする情報もほしい。気温が上がると困ることばかりなのか？
- ・身近で具体的な講座でとても良かったです。
- ・「県気候変動適応センター」の認知度が低く、県民に伝わっていない。もっと広報しないと災害の事前活動がさらに低下する可能性がある。本日の参加者は高齢者がほとんどであり、若人がほとんどいない。若者に対する対応が必要では？
- ・とても良い勉強をさせてもらった2時間でした。ありがとうございました。
- ・講師の方の広範囲での知識、収集、すばらしいと思いました。ありがとうございました。
- ・ネットでアンケートを出来るようにして下さい。
- ・樋口さんの誠実なお人柄が伝わってきました。ありがとうございました。
- ・聞きやすかったです。聞かな分らんなあということは知りたかったら積極的にこういう講座に参加すべきだと思います。またして下さい。
- ・我々はこれからどのように生きていけばよいか、国民皆で考えていかなければと思います。
- ・自動車、エアコン、…いっぱい便利なものと共に生活している。なかなか江戸時代以前の生活にはもどれない。将来人口が減って人間活動が減少するのを待つしかないのでは。
- ・講師の先生の声が非常に良かった。
- ・もっと広く周知されたいと思います。日本人としての民度を高めたいですね。SDGs へ住民参加が見える形になれば。
- ・SDGs と気候変動の関係がよく分かった。

以上